

追悼

小島 蓉子先生

(日本女子大学教授・国際福祉・社会リハビリテーション)

平成5年3月16日、日本女子大学教授、小島蓉子先生(59歳)は急性心不全により死去されました。小島先生の業績は、教授、研究者、政府・民間機関への助言者、等々多岐にわたり、それぞれが素晴らしいものでした。なかでも社会リハビリテーションの概念を広めることに果たされた役割は非常に大きいものです。

小島先生は教育者として多くの学生に影響を与え、研究者としては、最近ではシステムアプローチやエコロジカルアプローチなどのアメリカの新しい理論の紹介をはじめ、周囲に常に新しい刺激を与え、また障害者の方々との関わりにおいても「国連障害者の十年」での先生のご活躍など、目を見張るものがありました。さらに国際障害者リハビリテーション協会社会委員会委員長をはじめ、国際社会事業学校連盟理事、日本政府代表代理として国連総会で活躍するなど、障害者福祉の向上に世界的な貢献をしました。昨年9月、ケニアのナイロビで行われた国際リハビリテーション世界会議総会では、それらの輝かしい業績と多大な貢献に対し、感謝状が渡されました。



御略歴

昭和8年7月23日	栃木県足利市に生まれる	昭和50年4月	日本女子大学大学院文学研究科社会福祉学専攻担当
昭和31年3月	日本女子大学家政学部社会福祉学科卒業	昭和52年4月	日本女子大学文学部社会福祉学科教授
昭和31年4月	社会福祉法人日本キリスト教奉仕団主事 (昭和41年3月まで)	昭和59年4月	同学科主任 (昭和61年3月まで)
昭和35年9月	トロント大学社会事業大学院留学 (昭和36年12月まで)	昭和63年4月	同大学院文学研究科社会福祉学専攻主任 (平成4年3月まで)
昭和37年1月	コロンビア大学教育大学院入学	平成5年3月16日	逝去(享年59歳)
昭和38年6月	同修了(MA)	第36回国連総会	日本政府代表代理、労働省身体障害者雇用審議会委員、厚生省身体障害者福祉審議会委員、東京都心身障害者対策協議会委員、日本社会事業学校連盟国際委員会委員長、国際リハビリテーション協会社会委員会委員長、国際社会事業学校連盟理事などを歴任
昭和41年4月	日本女子大学文学部社会福祉学科専任講師		
昭和46年4月	同助教授		
昭和47年9月	ウィスコンシン大学大学院教育学部博士課程入学		
昭和49年8月	同修了(PH, D)		